

# Prader-Willi症候群の脂肪分布の特徴と成長ホルモン治療の効果

著者	阿部 美子
学位名	博士（医学）
学位授与機関	獨協医科大学
学位授与年度	平成25年度
学位授与番号	甲第618号
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1199/00000018/">http://id.nii.ac.jp/1199/00000018/</a>



図 1-A

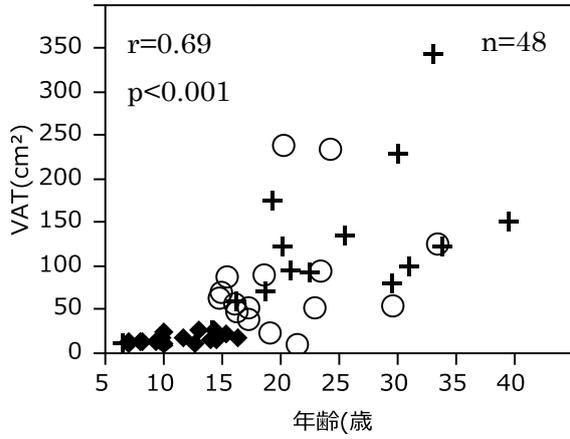


図 1-B

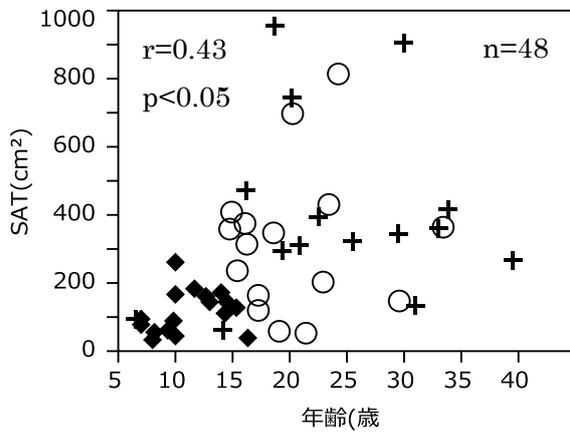
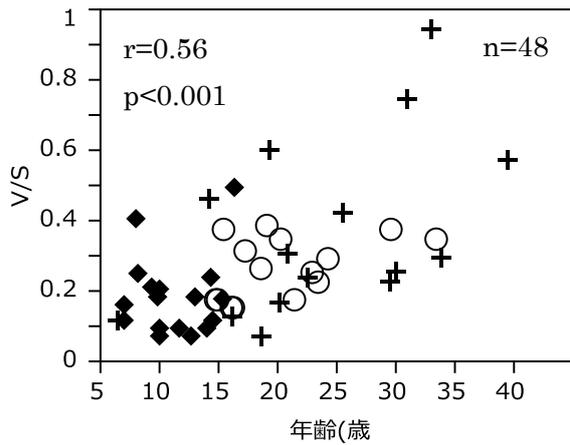


図 1-C



◆=GH 投与中 ○=GH 投与歴あり +=GH 投与歴なし

図 1 年齢と脂肪分布

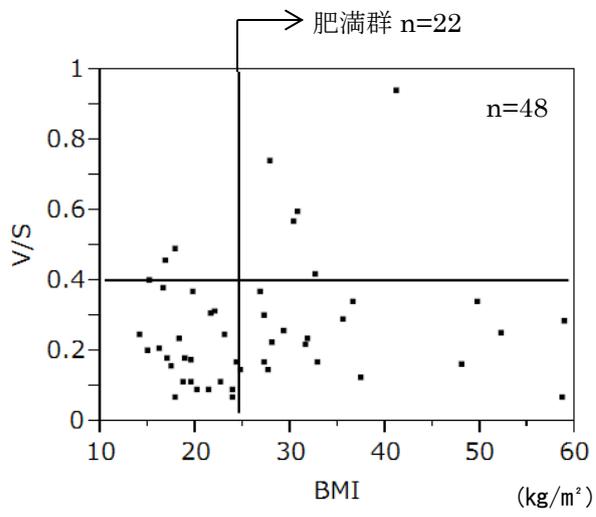


図2 BMI と V/S

図 3-A

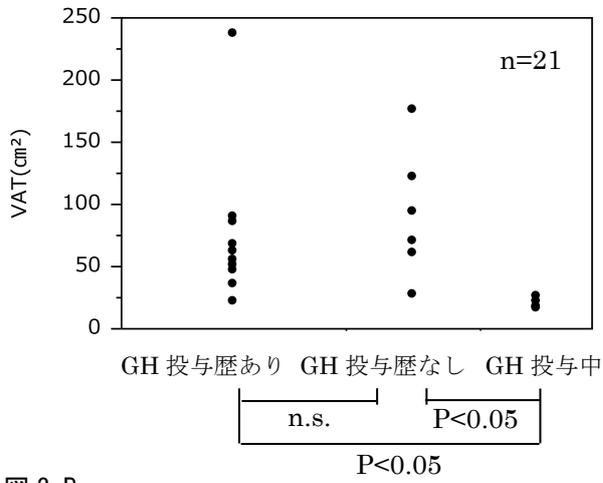


図 3-B

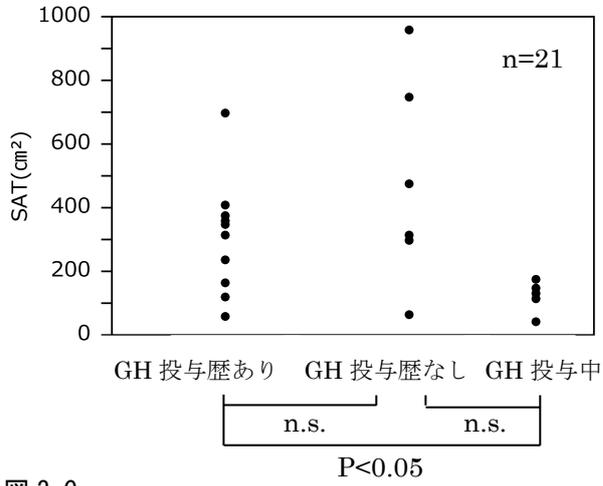
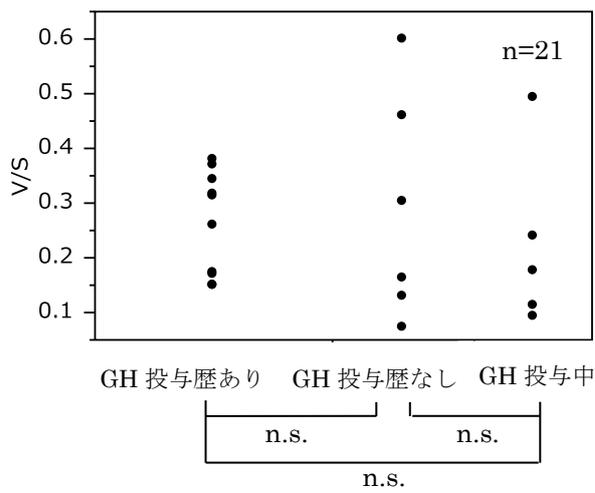


図 3-C



投与歴あり n=10 投与歴なし n=6 GH 投与中 n=5

図 3 GH 投与と脂肪分布の関連

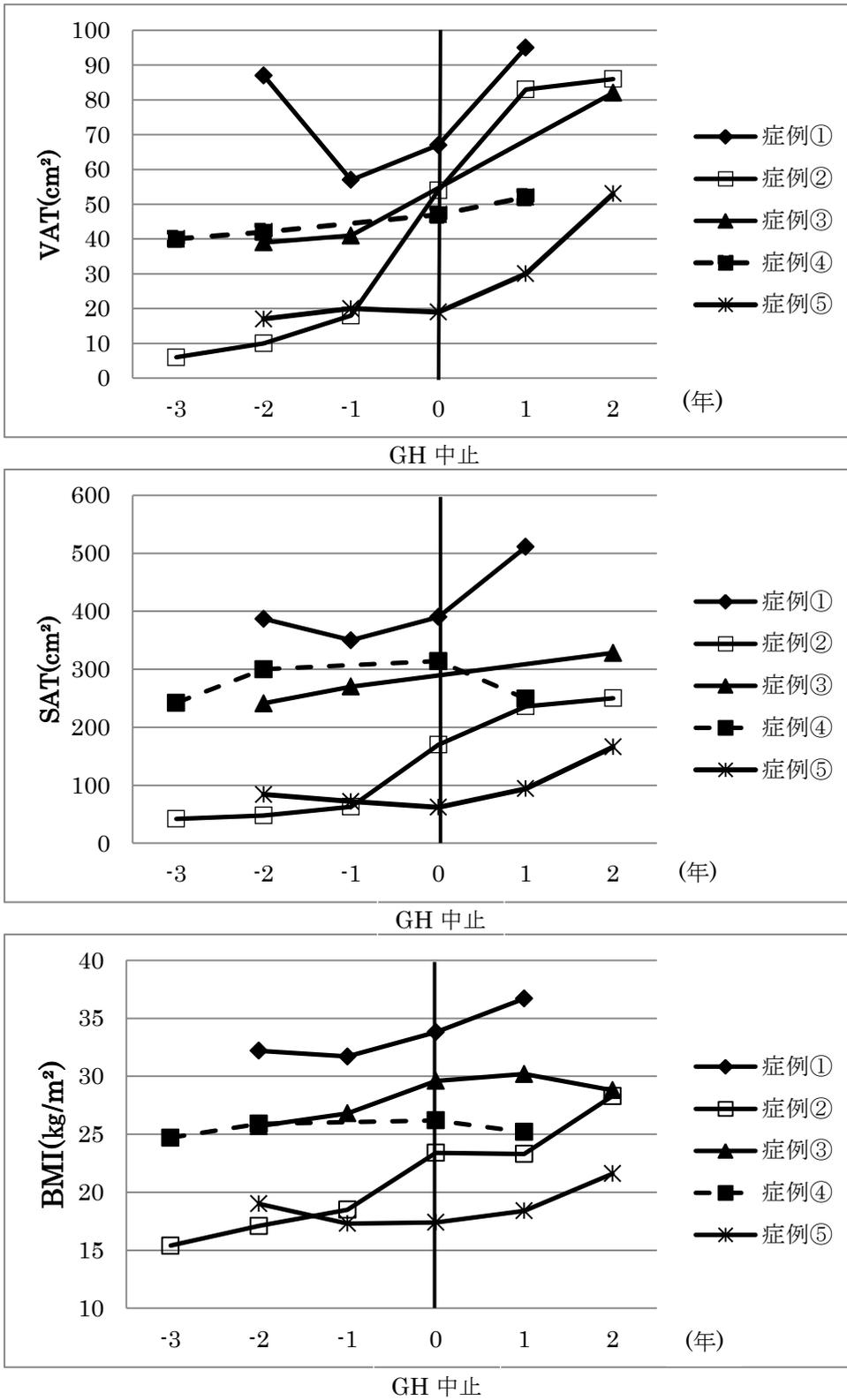
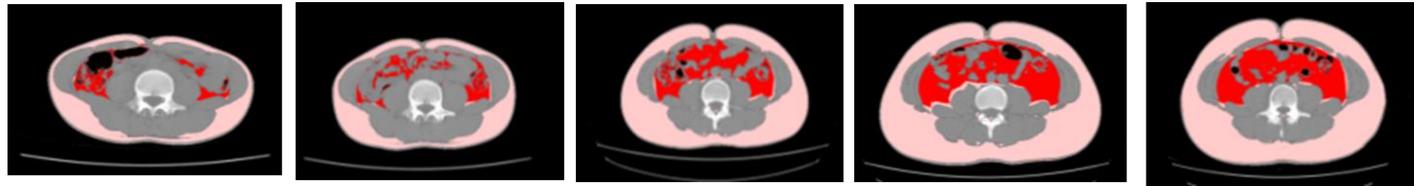


図4 GH 中止前後の脂肪分布の推移



	中止 2 年前	中止 1 年前(減量時)	GH 中止	中止 1 年後	中止 2 年後
VAT(cm <sup>2</sup> )	10	18	54	83	86
SAT(cm <sup>2</sup> )	48	63	170	236	250
BMI(kg/m <sup>2</sup> )	17.1	18.5	23.4	23.3	28.3

図 5 GH 中止前後における fat scan による脂肪分布の推移(症例②)